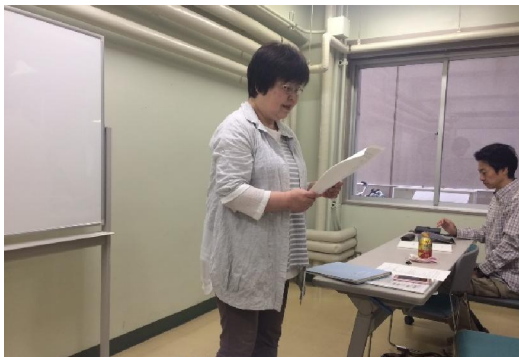


平成29年度 オリエンテーション開催

6月11日(日)午後1時より、みやぎNPOプラザにて研修部主催で行われ、主として、各部署の運営等の紹介をしました。

- ・定款について(H27.5.11改定発効)
- ・第16回定期総会方針の強調点
- ・各部業務内容紹介 (各部長より紹介)
- ・各研究会の紹介・実績 各座長より紹介
- ・各受託業務担当責任者紹介



JIA東北 建築家フォーラム2017

公益社団法人 日本建築家協会(JIA)東北支部では、毎年通常総会に合わせて、建築家フォーラムを開催しています。日本建築家協会は、マンション管理支援ネットワークせんだい・みやぎでお付き合いがある事から例年、管理士会へご案内があり昨年からは渉外部長の竹中副会長が参加しています。

今年のフォーラムは5月23日に開催され、総会終了後の14:00から18:15迄の長丁場でした。

内容は、最初に鈴木弘二東北支部長の挨拶フォーラム趣旨説明の後、六鹿正治JIA会長の講演で「環境変化とJIA」についての話がありました。次は、第10回記念JIA東北住宅大賞2016表彰式があり、引き続き、審査員長古谷誠章氏審査員五十嵐太郎氏による講評と講演、及び大賞受賞者の蟻塚学氏による記念挨拶でした。

次は、第1回JIA東北「空き家・空き地コンペ」表彰と、続いて審査員長前田氏による基調講演「郷土の根となる建築とは」がありました。最後に、前出5名(古谷氏、五十嵐氏、前田氏、蟻塚氏、鈴木氏)のパネリストによるパネルディスカッションで終了となりました。

JIAにおいてはマンションに関係している会員はほとんどいないと見えて、マンションに関連した話は一つもありませんでした。



「マンション管理支援ネットワークせんだい・みやぎ」のH29年度第1回基礎セミナー開催予定のお知らせ

6月2日(金)午後1時30分から仙台市役所本庁舎6階第1会議室において、平成29年度第1回基礎セミナー(8月5日(土)開催)の開催案内を管理組合に発送するための封入作業を行いました。

NW構成団体から28名の方々が参加され、当会からは8名の会員が参加しました。



日本マンション学会東北支部定期総会

6月1日(木)午後6時30分から、一番町の東北学院大学サテライトステーションにおいて、日本マンション学会東北支部総会が開催されました。

東北支部長の岡田康夫氏(東北学院大学准教授)が「オーストラリアの区分所有関係解消制度」について説明しました。

東北支部には、当会の会員8名が入会しています。



総会終了後、午後8時半より、東北みちのえき仙台駅前店にて懇親会が開催されました。

宮城県行政書士会定期総会に参加して

当会は、例年、行政書士会総会に招待いただいています。

今年も高橋会長が招待いただき、仙台国際センターで5月30日(火) 10時から開催された行政書士会総会に参加してきました。

会員の米寿祝い、傘寿祝いの後、来賓挨拶になり、宮城県知事(代理)の挨拶に続き6名の来賓が挨拶しました。その後、招待者の紹介になり、国会議員・首長・団体代表者など47名が紹介され、当会も紹介されました。

宮城県行政書士会の会員は、約920名だそうで、当会にも、11名の行政書士がいます。マンション管理士の資格を持ちながら行政書士の立場でも活躍される当会会員の皆様は、頼もしい限りです。

今年は役員改選で、新会長に佐々木政勝氏が就任しました。

新役員での理事会開催

6月6日(火)午後6時30分から当会事務所において、先日の総会で選任された役員による理事会が開催されました。



私の趣味 岩間 伸也 さん

自己紹介を兼ねて、ヨット、セーリング競技について書かせていただきたいと思います。

私は高校・大学と7年間、ヨット部に所属していました。49歳になった今も競技に参加したり後輩を指導しています。ヨットというと大きく豪華なクルーザーを想像される方も少なくないと思いますが、私が乗るのはディングーと言われる4メートルほどの小舟です。乗っている間中、完全に手放してくつろげるような安定感のあるものではなく、油断をするとすぐに横転します。ですから、サーフィンやスキーに性質が似ているかもしれませんが、オリンピックの種目として1896年の第一回大会から採用されているのにもかかわらず、残念ながら日本では馴染みが薄いですね。

私は大学卒業後、ヨットとは遠ざかってしまいましたし、東日本大震災も起きました。再開する機会がなくなってしまったと諦めていたのですが、先輩や後輩たちが、瓦礫の片付けに始まり、辛抱強く練習場所を整備し、全国の競技団体等からヨットや救助艇などの支援を受けて練習や競技を再開しました。一昨年、後輩が母校である石巻高校のヨット部の顧問になったとの知らせを受け、高校生への指導を手伝うことにしました。それ以来、月に数回石巻へ通っています。

ヨットと他のスポーツとの大きな違いは、高校に入ってから始める生徒がほとんどだということでしょう。ボールやバットの持ち方を知らずに野球部に入部する高校生は皆無でしょうけれども、ヨット部の場合は、ヨットを初めて見るという生徒たちばかりですから、なかなか大変です。それでも、上達するのを見るのはとても幸せですし、得難い経験なのではないかと思っています。



震災後、一旦は廃部扱いとなった石巻高校のヨット部ですが、一昨年以来の活動を評価され、この4月に正式な部活動として復活を遂げました。6月の予選を勝ち抜けば8月にインターハイに出場できます。せっかく頑張ったのですから、なんとか出場させてあげたいと思っています。

宮城県内には7つの高校、2つの大学のヨット部が活動しています。津波の被害から立ち直り、以前と同じように活動できているのはごく一部ですし、活動を再開できていない高校もあります。母校東北学院大学では、閑上の合宿所を失い、多い時には30～40名ほどいた部員もわずか7人で活動しています。練習拠点は貨物用コンテナ1個です。何もかもが不十分な中、学生たちは懸命に頑張っていますが、ライバルの東北大学には全く歯が立ちません。OBや学校関係者だけでは如何ともしがたい事ばかりで、元のようにするには時間がかかりそうです。

私の趣味としてヨット、セーリング競技についてご紹介させていただきました。マイナーな競技種目かもしれませんが、メジャーなスポーツの選手たちと同じように頑張っています。東京オリンピックでは日本チームが活躍するかもしれません。どうか温かい目で見守っていただければと思います。



人事・組織コーナー

今回、入退会の方はありませんでした。

本会活動予定

- 6月15日(木)18時00分～本会事務所 管理研究会
- 6月27日(火)14時30分～本会事務所 業務委員会
- 6月27日(火)18時00分～本会事務所 通年勉強会
- 6月27日(火)18時00分～本会事務所 法務研究会
- 7月04日(火)18時30分～本会事務所 理事会
- 7月10日(月)18時30分～本会事務所 技術研究会